

研究課題「胸部悪性腫瘍に対するがん薬物療法後の予後、治療効果、有害事象予測における機械学習の活用に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2008年1月1日から2020年3月31日に、がん薬物療法を受けられた胸部悪性腫瘍の方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

近年のがん薬物療法の進歩により、多くの胸部悪性腫瘍患者さんの症状緩和や延命が達成されるようになりました。しかしながら、がん薬物療法の効果は個人の特性や腫瘍の遺伝子変異などの特性によって大きく異なります。これから行う治療でどのくらいの効果が期待できるのか、あるいはどの程度の副作用を生じる可能性があるのかを前もって知ることができるのが理想ですが、これらは臨床試験に基づいた集団の治療結果から推し量るしかなく、患者さんそれぞれに個別化することは困難です。

今回の研究では、機械学習と人工知能を用いてがん薬物療法の効果、予後、副作用発現に関連する因子を探索し、精確な転帰予測ツールを開発することを目的とします。研究の方法は、多施設共同の後ろ向き観察研究です。対象者の臨床情報を診療録から取得する方法であり、患者さんの負担はありません。研究期間は実施承認日から2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる臨床情報（年齢、性別、喫煙歴、既往歴、病期、血液検査所見、画像所見、がん薬物療法歴とその効果および副作用など）は、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱います。また結果の公開にあたっては、統計データを基本とし、氏名、生年月日等、個人を識別できる情報は含まれません。

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。方法としては、研究参加施設のカルテから臨床情報を外付けHDDに移し、研究協力者が直接移送、または研究協力者が責任を持って郵送します。なお、匿名化した研究データもパスワード保護した外付けHDDで管理し、名古屋大学医学部附属病院の施錠可能なエリアでのみ取り扱います。

5. 研究組織

研究代表者

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院講師 森瀬昌宏

研究事務局

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学 神山潤二

研究分担者

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター 医員 古川大記

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院助教 田中一大

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター 病院教授 白鳥義宗

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター 特任助教 大山慎太郎

共同研究機関

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 木村智樹

* 共同研究機関では、各機関での倫理審査委員会の承認後に研究を開始します。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 医局

研究責任者 森瀬昌宏

[TEL:052-744-2167](tel:052-744-2167)

研究代表者：

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

森瀬昌宏